

2 成分系可とう性 エポキシ樹脂 (パテ状弾性エポキシ樹脂)

エバーボンド® EP-600

エバーボンド® EP-600 は、コンクリート構造物の動きのある箇所に充填補修する可とう性弾性エポキシ樹脂系パテ材です。

目地カット



エバーボンド EP-600 充填



エバーボンド® EP-600 の特長

- 可とう性を有していますので、コンクリートの動きに追従する事ができます。
- 硬化収縮が殆ど無く、充填後の肉やセがありません。
- ヘラ切れが良く、作業性に優れています。
- コンクリートとの接着性に優れています。

エバーボンド® EP-600 の用途

- ひび割れ補修の U カット部分への充填。
- PC セグメントや U 字溝等のジョイントへの充填。
- 最大 0.2mm 未満の挙動するひび割れのシール材。
- その他、動きを有するコンクリート補修箇所への充填。

性状

季別	エバーボンド®EP-600（一般用）		エバーボンド®EP-600（冬用）	
項目	主剤	硬化剤	主剤	硬化剤
主成分	エポキシ樹脂	脂肪族ポリアミン	エポキシ樹脂	脂肪族ポリアミン
外観	白色パテ状	灰色パテ状	白色パテ状	灰色パテ状
混 合 比	主剤：硬化剤＝１：１		主剤：硬化剤＝１：１	
可使時間	50 ± 15 分以上（23℃：300g）		35 ± 10 分以上（23℃：300g）	

※各数値は測定値であり、保証値ではありません。※可使時間については、材料や使用条件等により、本資料と異なる結果を生ずることがあります。

エバーボンド EP-600（試験規格値）

試験項目		試験条件	エバーボンド®EP-600		品質・性能規格
			一般用（M）	冬用（W）	
押し出し性（秒）		低温条件 D 5 ± 1℃	3.2	3.5	60 以下
スランプ B 法（Mm）		高温条件 C 70 ± 2℃	0	0	3 以下
引張接着性	引張強さ（MPa）	標準条件 E 23 ± 2℃	1.0	1.6	1.0 以上
	破壊時伸び（％）	標準条件 E 23 ± 2℃	56	121	10 以上
引張特性 C 法	引張強さ（MPa）	標準条件 E 23 ± 2℃	2.5	1.7	1.0 以上
		低温条件 E 0 ± 3℃	11.1	5.3	1.0 以上
		加熱劣化条件 80 ± 3℃	2.7	1.1	1.0 以上
	破壊時伸び（％）	標準条件 E 23 ± 2℃	190	180	30 以上
		低温条件 E 0 ± 3℃	40	80	30 以上
		加熱劣化条件 80 ± 3℃	180	230	30 以上
加熱減量 B 法	質量変化率（％）	高温条件 D 80 ± 3℃	2.42	2.86	5 以下

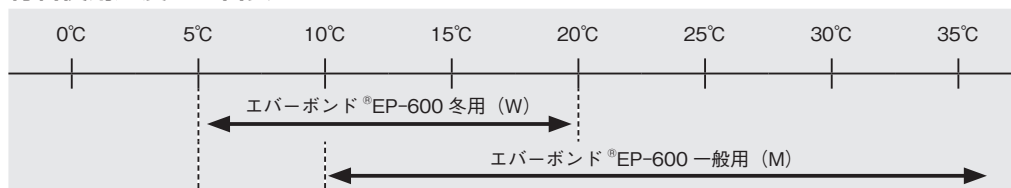
上記の測定値は、JIS A 6024：2015（建築補修及び建築補強用エポキシ樹脂）の可とう性エポキシ樹脂の品質に基づき（財）建材試験センターで試験した結果です。

包装容量

10kgセット（主剤：5kg、硬化剤：5kg）× 2 セット / ケース	一般用（M）
	冬用（W）



材料使用温度との目安



※ 詳細な注意事項が必要な場合は、安全データシート（SDS）をご参照下さい。

使用方法

1. 主剤と硬化剤を重量比 1:1 の割合で計量し、ヘラ等を用いて均一な色になるまで十分に混合して下さい。
2. 気温が高い場合や、一度に大量混合した場合には可使時間が短くなるので混合量は、気温を考慮して使い切れる量として下さい。
3. プライマー処理（EP-300 等）した後、プライマーのタックのある内にコーキングガン等により充填し、ヘラ押しします。
4. 施工終了後、少なくとも 24 時間以内には、過度の衝撃、振動や載荷などを与えないで下さい。※ 養生中に環境温度が 5℃以下になる場合は状況に応じて保温養生を行なって下さい。

注意事項

1. 接着剤が皮膚に付着した場合、体質によってかぶれることがありますので、直ちに拭き取り石鹸水で、良く洗い落として下さい。
2. 作業器具などに付着した接着剤はシンナー類で洗浄して下さい。
3. 5℃以下での施工は原則として中止して下さい。また、雨天での屋外における施工は水分の混入に十分注意を払って下さい。いずれも硬化不良の原因となります。
4. 温度が 40℃以下の場所を定めて保管して下さい。
5. 蒸気やガス等を吸い込んで、気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。

※ 資料の数値については、公的機関でのデータですが、材料や使用条件等により本資料と異なる結果を生ずる場合があります。お客様各位で試験検討の上、ご使用頂きますようお願い致します。

ダイフレックス製品の適用および使用に関する情報および勧告は、当社の最新の知識および経験に従っているものであり、通常の条件下で適切に保管、処理および適用されることを前提としております。実際には材料、配合および現場の条件がそれぞれ異なるため、ここに記載されている情報、書面での勧告、その他のアドバイスは、商品性や特定目的への適合性について保証するものではなく、また、法的関係から生ずる責任をもたらしません。ユーザーは、ダイフレックス製品がユーザーの使用目的および施工方法に適しているかをあらかじめ確認して下さい。当社は、製品の特性を変更する権利を留保します。第三者の権利は尊重されなければなりません。すべての注文は、当社の最新の販売・納品条件に従って受注されます。ユーザーは常に使用する製品のプロダクトデータシートの最新版に留意して下さい。プロダクトデータシートの最新版はご請求いただければ当社が提供いたします。著作権法により無断複写複製及び無断転載は禁止されています。

株式会社 ダイフレックス

〒163-0825 東京都新宿区西新宿 2-4-1 新宿 NS ビル 25F 私書箱第 6086 号
TEL. 03-6864-0751 FAX. 03-6864-0752